



F-REIの最近の動き (2023年10月～)

福島国際研究教育機構

F-REI設立後の出来事（10月以降）

7月7日～※	令和5年度の研究公募について	2
10月4日	第11回F-REIトップセミナーの開催（福島県立医科大学）	3
10月4日	第12回F-REIトップセミナーの開催（福島高校）	4
10月11日	市町村座談会の開催（富岡町）	5
10月12日	第2回F-REI産学官ネットワーク・セミナーの開催	6
10月13日	第1回アドバイザリーボードの開催	7
10月15日	科学実験教室の開催	8
10月17日	市町村座談会の開催（川内村）	9
10月23日	市町村座談会の開催（新地町）	10

※10月以降の時点修正等を反映

令和5年度の研究公募について

本年度のF-REIで実施する研究開発事業について、これまでの検討を踏まえ、以下の事業について公募を開始しております。今後も、公募準備が整い次第、そのほかの事業も公募開始していきます。

● ロボット分野

- ・フィールドロボット等の市場化・産業化に向けた性能評価手法の標準化事業
- ・困難環境下でのロボット・ドローン活用促進に向けた研究開発事業
- ・廃炉向け遠隔技術高度化及び宇宙分野への応用事業
- ・防災・災害のためのドローンのセンサ技術研究開発事業
- ・長時間飛行・高ペイロードを実現し、カーボンニュートラルを達成するドローンの研究開発事業

<公募期間>

- 令和5年8月2日～9月4日（公募終了）
- 令和5年8月4日～9月19日（公募終了）
- 令和5年8月4日～9月29日（公募終了）
- 令和5年9月1日～10月31日（公募終了）
- 令和5年10月4日～11月17日

● 農林水産業分野

- ・福島国際研究教育機構における農林水産研究の推進

令和5年7月7日～8月7日（公募終了）

● エネルギー分野

- ・ネガティブエミッションのコア技術の研究開発・実証
- ・バイオ統合型グリーンケミカル技術の研究開発
- ・水素エネルギーネットワークの構築に関する研究開発

- 令和5年7月28日～9月14日（公募終了）
- 令和5年7月28日～9月14日（公募終了）
- 令和5年8月10日～9月25日（公募終了）

● 放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用分野

- ・農作物の生産性向上や持続可能な作物生産に資するRIイメージング技術の開発
- ・超大型X線CT装置等を活用した産業のデジタル化技術の開発等に関する調査研究事業
- ・加速器を活用したRIの安定的かつ効率的な製造技術の開発

- 令和5年8月8日～9月22日（公募終了）
- 令和5年8月30日～9月29日（公募終了）
- 令和5年9月15日～10月27日（公募終了）

● 原子力災害に関するデータや知見の集積・発信分野

- ・福島浜通り地域におけるまちづくり研究及びラーニング・コミュニティハブ整備事業
- ・環境中の放射性物質の動態への人間活動の影響・移行抑制対策効果の評価手法開発
- ・原子力災害からの復興に向けた課題の解決に資する施策立案研究

- 令和5年8月4日～9月15日（公募終了）
- 令和5年8月4日～9月15日（公募終了）
- 令和5年8月4日～9月29日（公募終了）

令和5年10月4日（水） 第11回F-REIトップセミナーの開催（福島県立医科大学）

10月4日、第11回のトップセミナーを福島県立医科大学で開催しました。

講師は監事の中西友子が務め、演題を「アイソトープと放射線は新しい研究を拓く素晴らしいツール」とし、1年生の約180名を対象に行いました。

中西監事は自身の専門分野である、植物生理学に関する研究内容を紹介され、放射線は研究の重要なツールであるとも話されて、放射線利用の可能性について言及していました。最先端の研究に触れることができ、学生にとって良い刺激となりました。



令和5年10月4日（水） 第12回F-REIトップセミナーの開催（福島高校）

10月4日、第12回のトップセミナーを福島高校で開催しました。

講師は執行役の大和田裕二が務め、演題を「私の医学研究とF-REI」とし、約50名の医学コースを希望する1年生が熱心に耳を傾けていました。

大和田執行役は、医学の進歩は研究とイノベーションによって生まれることなどを説き、「経験（新しい出来事や友人・教師との出会い）が皆さんの将来の糧となります。高校生活をエンジョイしてください！」とメッセージを伝えました。和やかな雰囲気の中、生徒からは次々と質疑がなされ、好評のうちに終わりました。



令和5年10月11日（水） 市町村座談会の開催（富岡町）

10月11日、第7回目となる市町村座談会を富岡町で実施いたしました。

座談会に先立ち、廃炉関連製品製造企業、木材（パネルログ）製造企業を訪問し視察及び意見交換を行ったほか、座談会では、地域で活躍されている方々、立地企業の方々、東京農工大の教授にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。



令和5年10月12日（木） 第2回F-REI産学官ネットワーク・セミナーの開催

10月12日、東北の復興を見据え、東北の企業他を巻き込んだ産学官の連携体制構築の機会とするため、仙台で本セミナーを開催しました。

産学官連携・産業化をテーマとして、3名の講師（若生氏、海老原氏、小池氏）※にご講演いただきました。また、トークセッションでは、佐々木氏※をモデレータに迎え、講師3名に江村理事を加えて、これからの産学官連携・産業化及びF-REIに対する期待についてご議論いただきました。

※モデレータ：佐々木 啓一（宮城大学長）

※講師：若生 裕俊（富谷市長）、海老原 城一（AiCTコンソーシアム代表理事）、小池 美穂（株式会社マテリアル・コンセプト代表取締役CEO）

当日は、オンライン参加を含めて156名の民間企業、団体、大学、地元自治体等の方々にご参加いただき、「F-REIの発信力をもっと高めていくべきである。」といったご意見をいただきました。



令和5年10月13日（金） 令和5年度第1回アドバイザリーボードの開催

10月13日、令和5年度第1回アドバイザリーボードを開催しました。

F-REIで初めての開催となる今回は、アドバイザーとして、石村和彦 産業総合技術研究所理事長、永田恭介 筑波大学長、原山優子 東北大学名誉教授が対面で、山名元 原子力損害賠償・廃炉等支援機構理事長がオンラインで、それぞれご参加いただきました。F-REIからは山崎理事長をはじめ、役員、執行役、分野長、副分野長等が出席しました。

初めに、F-REI側からF-REIの取組紹介を行ったのち、研究活動の方向性や、拠点形成のあり方等についてアドバイザーとの活発な意見交換を通じて有意義なご助言をいただきました。



令和5年10月15日（日） 科学実験教室の開催

10月15日、「親子わくわく科学実験教室」と題し、実験教室を開催いたしました。

当日は、浜通りを中心に県内各地から6組18名の親子にご参加いただき、網倉優子先生を講師としてお招きし、一緒にペットボトルロケットを自作しました。その後、ロケットに水を入れて打ち上げると、子供たちから歓声が上がるとともに、次はより飛距離を伸ばそうと試行錯誤しておりました。打ち上げ後、本物のロケットも何度も失敗しそのたびに改良され作り上げられていくものと先生から教えられると、子供たちは真剣に聞き入っていた様子でした。



令和5年10月17日（火） 市町村座談会の開催（川内村）

10月17日、第8回目となる市町村座談会を川内村で実施いたしました。

座談会では、地域で活躍されている方々、立地企業の方々、まちづくり団体の方にご参加いただき多くのご意見をいただきました。また、座談会のほか、ワイナリー、建設機械部品製造企業を訪問し視察及び意見交換も行いました。



令和5年10月23日（月） 市町村座談会の開催（新地町）

10月23日、第9回目となる市町村座談会を新地町で実施いたしました。

座談会に先立ち、天然ガス発電所、樹脂製品製造工場を訪問し視察及び意見交換を行ったほか、座談会では、地域で活躍されている方々、立地企業の方々にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。



世界に冠たる 「創造的復興の中核拠点」へ